

Background (設立趣旨)

21世紀は、環境・エネルギー問題と情報・社会技術の急展開により、人類史上まれに見る大きな転換期となりつつあります。特に、環境エネルギー分野においては、脱化石エネルギーの技術を基盤とした持続可能な循環経済社会、すなわち環境や地域と共生するエネルギー社会を、2050年をめどに、実現することが、2015年のパリ協定やSDGsとして、世界の人々に共有されてきました。各国はそれぞれの思惑の中で行動しており、それらの実現は予断を許しませんが、世界は着々と自然エネルギーへの転換を進めており、地方政府や企業のイニシアチブによる挑戦も進んでいます。世界の金融界も時代の大きな転換に向けた姿勢を明示しています。

我が国でも、2020年10月、世界の動きに協調した「2050年温室効果ガス実質ゼロ目標」が掲げられました。すでにそれに先立って100以上の自治体がゼロ宣言を行っていましたが、現在の数は230を超えるに至っています。これからは、気候変動対策と地域経済の活性化、そしてコロナ禍からの復活を結び付ける「グリーン・リカバリー(緑の復興)」が課題となります。

自然エネルギーへの転換は、これまで、化石燃料を外国から輸入することによる膨大な「対外エネルギー支払い」からの脱却と、人口の都市集中により過疎化した地方の地域社会の活性化にもつながります。こうした新しい社会実現へ方向性が見えてきた一方で、石炭火力の維持・推進、我が国および輸入元の森林破壊を誘発するような大型輸入バイオマス発電の横行、再エネへの系統連系抑制などの展開という実態は、化石燃料に基づく近代化・工業化時代からの意欲的な脱出の活動が、わが国においてはさらに強化されなければならないことを示唆しています。

そのような課題に応える新たなチームとして、本「共生エネルギー社会実装研究所」は設立されました。マクロな計画はもちろん、地域等の現場の市民、ステークホルダー、実行部隊等との連携、分野横断性、中長期の展望を明確にして現状に迎合しないこと、地域の自律的ガバナンスと経済的自立を重視し、新しい時代を招来しようとする企業や市民とともに、持続型文明への移行を支援する研究を推進していきます。

Directry (概要)

名 称 共生エネルギー社会実装研究所

理 事 長 堀尾 正靱(東京農工大学名誉教授)

設 立 2020年1月29日

ウェブサイト <https://www.erises.org/>

E - m a i l admin@erises.org

事 務 局 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町4-1-5

活動内容に関するご相談等は上記メールアドレス
または、HPのお問い合わせフォームにて受け付けております



「CO₂排出実質ゼロ」時代の
21世紀型産業と
地域の創生を目指して



共生エネルギー社会実装研究所

Research

Institute for

Symbiotic

Energy

Society

私たちは「CO₂排出実質ゼロ」時代の 21世紀型産業と地域の創生を目指して 提言し続ける“研究者集団”です

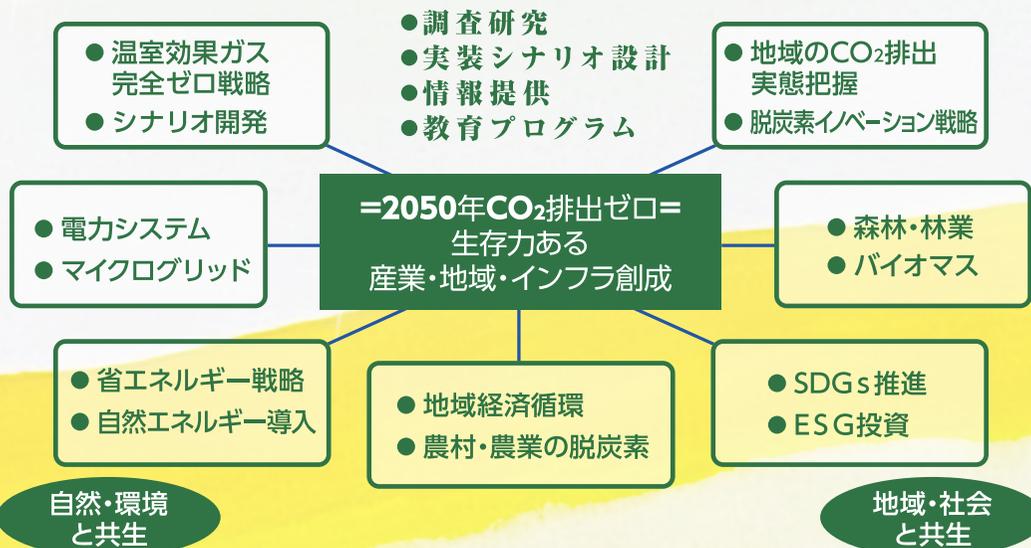
当研究所は、「新しい時代を招来しようとする起業家や市民とともに、
「土(地域・市民感覚)」と「風(外部者・技術・知識)」の共創を生み出し、
21世紀人類の大きな転換期にふさわしい時空スケールと、IT時代にふさわしい緻密さで、
各地域の持続型文明への移行の道筋を発見的に構想し、その社会実装を支援し、
それらをもって、地球システムの自然と共生する自律的・持続的な地域からなる
「共生エネルギー社会」の実現に寄与すること」を目的として
研究を進めてまいります。



所長:堀尾 正毅(東京農工大学名誉教授)
Masayuki Horio
>>>主要分野

もともとの専門分野は、化学工学、流動層工学、粉体反応工学、環境・エネルギー工学。
2002年より5年間東京農工大学COE「新エネルギー・物質代謝と生存科学の構築」リーダーをつとめ、
研究領域を拡大。JST-RISTEXでの領域総括、龍谷大学政策学部での教育研究を経て、物質・エネルギーシ
ステム論、科学技術社会論、および、内発的発展論の視点から、持続型社会への移行・SDGsの実現について、
理論と実践の両面から研究している。

Activities (活動内容)



いま、2030年計画が大切!

Researchers (研究所員)



秋澤 淳(東京農工大学 教授)
Atsushi Akisawa

>>>主要分野
地域分散型エネルギーシステムのモデル分
析、排熱有効利用、熱駆動ヒートポンプ(吸収
冷凍機、吸着冷凍機)、太陽エネルギー利用



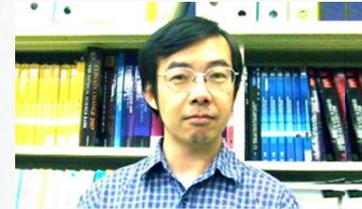
乾 正博(シン・エナジー株式会社 代表取締役)
Masahiro Inui

>>>主要分野
木質バイオマス、地熱、水力、太陽光等の再エ
ネエンジニアリングに携わり、エネルギーによ
る地域経済圏の確立に向け各地域で活動中



重藤 さわ子(事業構想大学院大学 准教授)
Sawako Shigeto

>>>主要分野
地域経済・資源論、温暖化対策と地域活性化、
プログラムマネジメント



歌川 学(産業総合研究所安全科学研究部門持続可能
システム評価研究グループ 主任研究員)
Manabu Utagawa

>>>主要分野
機械工学、環境工学で温暖化対策、省エネ対策
の技術選択評価、対策シナリオ研究に従事



原 亮一(北海道大学大学院情報科学研究院 准教授)
Ryoichi Hara

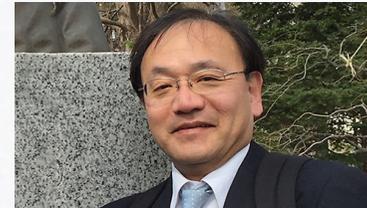
>>>主要分野
ものづくり技術(機械・電気電子工学)/電力工学

Advisors (アドバイザー)



榎原 友樹(株式会社イー・コンサル代表取締役
株式会社能勢・豊能まちづくり 代表取締役)
Tomoki Ehara

>>>主要分野
関西を地盤に環境・エネルギー問題の解決やエ
ネルギーを軸としたまちづくりに全力を注ぐ



寺岡 行雄(鹿児島大学農学部 教授)
Yukio Teraoka

>>>主要分野
森林計画学



安田 陽(京都大学大学院経済学研究科
再生可能エネルギー経済学講座 特任教授)
Yoh Yasuda

>>>主要分野
再生可能エネルギーの系統連系問題、電力情
報統計分析



土山 希美枝(法政大学法学部 教授)
Kimie Tsuchiyama

>>>主要分野
公共政策、地方自治、政治学



依田 真美(相模女子大学大学院社会起業
研究科 教授)
Mami Yoda

>>>主要分野
金融、地域活性化、観光、
ソーシャルイノベーション